

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) No260

(新著の紹介)

シリーズ全4巻「学びとビーイング」刊行！ ー学び続ける教師のあり方 (Being) とは？ー

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

シリーズ『学びとビーイング』 りょうゆう出版



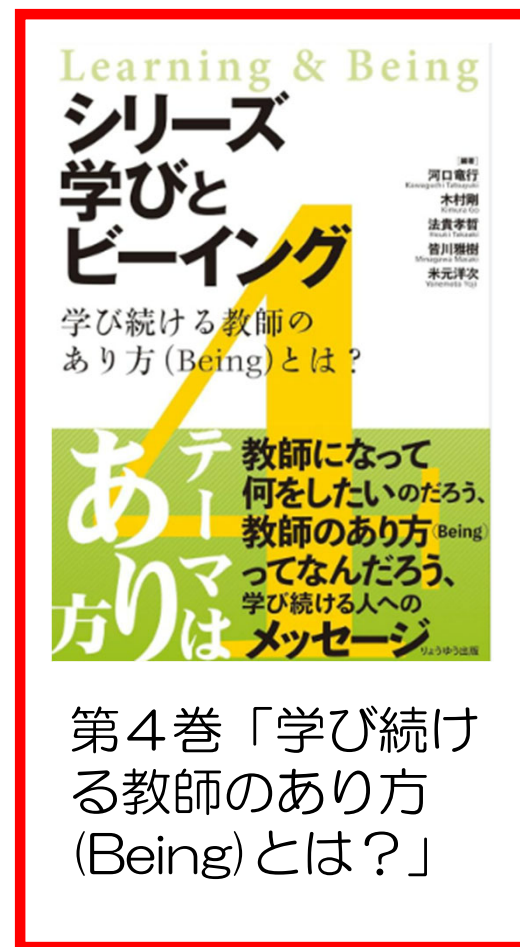
第1巻「いま授業とは、学校とは何かを考える」



第2巻「授業づくり、授業デザインとの対話」



第3巻「学校内の場づくり、外とつながる場づくり」



第4巻「学び続ける教師のあり方 (Being) とは？」

新著



河口竜行・木村剛・法貴孝哲・皆川雅樹・米元洋次
(編) (2024). 学び続ける教師のあり方 (Being) と
は? りょうゆう出版 (2024年4月刊行)

- 子どもの学びを支える、私たちの「ビーイング」
(青柳圭子@成城学園中学校高等学校教諭・国語)
- 「教える」「教わる」の逆転
(前川修一@福岡県立ありあけ新世高校高 教諭 地理歴史)
ほか計32論考
- 河口竜行「すべてを「対話型」で進める国語ーインプロ授業
を例としてー」
- アクティブラーナー法貴孝哲が行く！
登本洋子「情報も探究も、どちらも未来が詰まっている、。
ほんとうに重要な教科です」
- 木村剛「狩猟とBeing
ー中高一貫女子校教師のダブルワーク日誌」ほか

第4巻

No137 (新著の紹介)

ビーイング(存在)から学びを捉える！

河口竜行・法貴孝哲・木村剛先生、安修平氏に

新著インタビュー



印象に残った点

学びとビーイング 編集委員座談会「学び続ける教師のあり方（Being）って、なんだろう？」（p.138-147）

by 河口竜行・木村剛・法貴孝哲・皆川雅樹・米元洋次・安修平

① 安：「どうあるべき」かではなく、あなたの「あり方」を書いてください
(pp.141-142)

> 自己の3様態 (Higgins, 1987)

- 現実自己 (real)
 - 理想自己 (ideal)
 - 義務自己 (ought)
- ズレ

> 千々布敏弥

『先生たちのリフレクション』（2021）

- 技術的リフレクション
- 実践的リフレクション
- 批判的リフレクション

Number 5

⑤ 千々布敏弥先生との対談

— 著書を出して、今現在考えること — (最終回)

先生たちの リフレクション

TEACHERS' REFLECTION

主体的・対話的で深い学びに近づく、

たった一つの習慣

千々布敏弥

是々非々を貫く研究者が
アクティブ・ラーニングの

モヤモヤ

に切り込んだ先でみえた

超シンプルな授業改善の戦略



『先生たちのリフレクション—主体的・対話的で深い学びに近づく、たった一つの習慣』教育開発研究所 (2021年11月刊行)



② 皆川

「生徒を「主語」にして考えれば常にこちらの出し方を変えなくちゃいけない。・・・そのためには学ばなくちゃいけないってことです。・・・「学ばない先生はいないのかもしれないが、**学んでいても変わらない先生はい**る」だろうと、あらためて思いました。」 (p.145)

ご視聴有難うございました
チャンネル登録もお願いします

質問、コメントは個人メールで受け付けます。
E-mail mizokami@toin.ac.jp

- お名前、ご所属

※可能なら専門分野や教科、職位なども教えてください、回答の助けになります。
なお、動画内では個人のお名前等は出しません。

- 質問、コメント等

